

いた(第2図)。また、会議期間中には2度の夕食会が開催され、インド舞踊ショー等のイベントも用意されていた。このような会を囲んで、多くの研究者と交流を持てたことは、たいへん刺激的でありかつ有益で

あった。

最後に、今回の会議参加にあたり、日本気象学会の国際学術交流委員会より渡航費の援助を頂きました。ここに記して深く感謝致します。

国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

—国際学術交流委員会—

気象学会細則第7章「国際学術交流」に基づき、国際学術研究集会への旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

記

1. 対象の集会

A：1999年6月1日～11月30日および

B：1999年12月1日～2000年5月31日の期間外国で開催される国際学術研究集会

2. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携る予定のもの。ただし、ほかから援助のあるものは除く。

3. 募集人員

若干名

4. 補助金額

開催地域を考慮し最高15万円程度

5. 応募手続

所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会(〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4気象庁内日本気象学会気付)に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

期日：A 1999年3月15日

B 1999年9月15日

注：申請書は最新の様式のもを日本気象学会事務局から取り寄せるか、気象学会ホームページにあるものを使用すること。申請書の様式は断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。e-mailでの申請は受け付けない。

6. 補助金受領者の義務

当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ(2000字)程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。